

■ 悪人とは偽善者のようで、

善人とは偽悪者のよう

修正： 2021.05.01

投稿： 2021.05.01



●悪人とは偽善者のようで、善人とは偽悪者のよう①

自分が部屋に一人にいる時、
なんだか部屋のどこかに隠しカメラがあって、
誰かに見られているような気がしたりする…。

//-----

さてさて本題ですが、
日本人は、**お人好し国民**だそうです。

確かに、小さい頃から、
「他人には優しくしなさい！」
の方向性で育てられてきました。

「困っている人は見捨てなさい！」とか、
「奪えるものは何だって奪いなさい！」とか、
「バレなきゃ何してもいい！」などと、

「他人を犠牲にしても自分の幸福を追求せよ」
と、教わった人は、そうはいないでしょう。

10年前、中国で、車に轢き逃げされ、
道の真ん中で少女が苦しみ助けを求めている、にも関わらず、
通行人が誰も助けようとしないうシーンがネットに流出し、
そのあまりの衝撃から、国際的に非難を浴びました。

日本であれば、轢き逃げこそあれども、
轢かれて苦しんでいる人を誰も助けない、
ということはさすがにないと思いたいところです。

山道を走れば必ず崖側にガードレールがあるものですし、
踏切では一時停止することが**法律**でも規定されています。
自転車通学ではヘルメット着用を**義務**としているほどです。

しかし、外国ではそうになっていないことが多々あり、
もし崖から落ちたとしても、運転手の**不注意**とされます。

周りの人を気遣うのは当たり前、
気遣われるのも当たり前、これが日本のようです。

(続)

//=====//

●悪人とは偽善者のようで、善人とは偽悪者のよう②

日本はお人好しでお節介な国、
ということですが、それが行き過ぎて、
加害者に優しすぎるという声もあります。

殴られたからと言って殴り返すと、
どちらも罪になるのが日本です。

それはつまり、やられてもやり返してはいけない、
ということを意味します。逆に言えば、
やられたらやり返す、と言うのであれば、
犯罪者になる覚悟が必要だ、ということ。

相手が人を平気で殴る犯罪者なのだから、
こちらも犯罪者になる覚悟がなければ、
相手に勝つことはできない、ということ。つまり、
犯罪者を懲らしめると犯罪者になってしまうわけです。

しかし、犯罪者がのうのうと暮らすことを、
善良な市民は快く思わないもので、犯罪者になることを覚悟で、

個人的に復讐しようとする人はいます。ただし、いくら報復だとしても犯罪行為として裁かれますが。

そのような法律で動いている国家ですから、領海・領空が侵犯されたとしても、日本側は威嚇射撃することすらありません。

国家が国民に、「やられてもやり返してはいけません」と言っている以上、**国家としてもやり返さない**、ということでしょうか。

「武力を行使して国家間の問題解決を図ったりはしない！」

ということを憲法にも明記しておりますから、正々堂々と威嚇射撃することも躊躇われるのでしょう。

こうしたお人好みな気質が、吉と出るか凶と出るかは誰にも分かりませんが、とりあえず私たちはそういう国です。

(続)

//=====//

● 悪人とは偽善者のようで、善人とは偽悪者のよう③

「善い人」とか「お人好しな人」と言うと、どことなく**「損をする人」**のような印象があります。

漫画や映画の影響でしょうか。見返りを求めず、持っているものも惜しげもなく差し出す、こうした献身的な姿勢を、私たちは「善」とイメージします。

映画であれば、きちんと恩返しされ、
幸せになるストーリーが組まれていますが、
現実世界ではどうでしょうか？

「見返りを求めずに人助けする」

というのは結構ですが、見返りがなければ、
何も得るものはない、ということになります。
それは承知の上でしょうか？

相手に好かれたい、もしくは、嫌われたくない一心で
相手に尽くそうとしているのであれば、それは
愛でも優しさでもなく、単なる「依存心」です。

己無く、人に尽くす身、蟬の殻

愛は自分を中心に広がっていくものですから、
自分を愛さずして人を愛することはできません。ゆえに、
本当に善人であれば、まず自分に対して善のはずです。

自分を犠牲にしても他人を助けようとする人には、

「あなたのそれは本当に純度 100%の善なのか？」

と、疑問しかありません。むしろ「気持ち悪い」
とすら思えます。何か裏がありそうだからです。

「見返りを求めない」の「見返り」には、
金銭的なものだけでなく、精神的なものも含まれているのです。
むしろそちらの方が大きいかもしれません。

その上「あなたも善い人になりなさい！」と、
「善い人になること」を強要されれば、誰だって
「押し付けるな！」と反発を覚えるところでありましょう。

(続)

//=====//

●悪人とは偽善者のようで、善人とは偽悪者のよう④

「申し訳ない、あなたのサプライズは迷惑です」

案外、サプライズは失敗するものです。サプライズした側は、
「きっと相手は喜んでくれるだろう（`ー´）ノ」
とやってやっているわけですが、された側からすると、

「別にそんなに嬉しくないし、
喜んだフリをしなければならぬし、後々、
恩返しをせがまれるのか…（*ω*）」

と**面倒な気分になるだけ**です。

そんなゴミプレゼントは、
ほとぼりが冷めた頃にはフリマ行きです。

本当のところ、**サプライズ**なんて、**されるだけ面倒**です。
ほどほどに距離を保って接してくれれば、それが一番です。
こうしたこともあって、実は、優しい人よりも
冷たい人の方が最終的には人間関係は暖かくなる、
ということが往々にしてあります。

アニメだと分かりやすく、アニキャラを人気投票した際、
冷徹なキャラが人気順上位にくることは普通にあります。

なぜ冷たい人が嫌われないかと言うと、それは、
相手から何も奪っていないから、です。逆に、
いくら優しくても、人から奪う人は嫌われます。

その上、優しさを信条にしている人は、

冷たい人を見下す傾向があります。
加えて、なかなか恩返しされないときは、
やたら恩着せがましくなるものです。

表面上の優しさと、その人の人望は、
必ずしも一致したりはしません。逆もしかりです。そう、

この世には、善人のように見えて嫌われていく**偽善者**と、
悪人のように見えて慕われていく**偽悪者**がいるのです。

(完)

//=====//

Web サイト :

心を力学する ー原理・原則に基づく生き方を考えるー

著者 :

時無 和考(Tokinashi Kazutaka)